

Ⅱ. 需要動向調査

1. 需要動向調査について

○本調査の目的

市内事業者が販売する商品や、提供する役務・サービスについての需要動向に関する情報、並びに地域経済動向に関する情報を整理・提供することで、事業計画の策定や商品開発、新たな情報を得るためのきっかけづくりとすることを目的とします。

○本調査書作成の方法

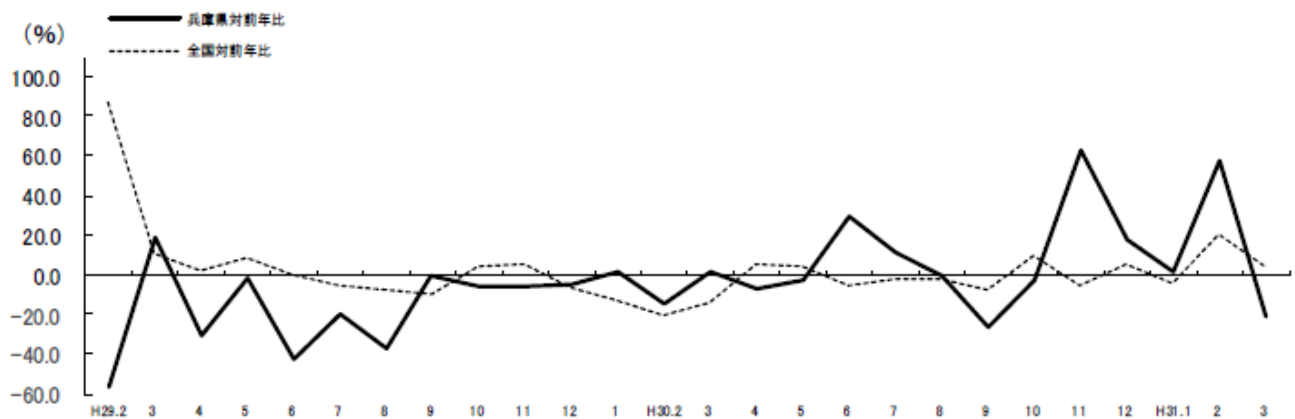
需要動向の情報となる国や県の調査結果等をもとに、近隣から全国的な範囲まで含めた動向を収集します。

1. 業種ごとの動向

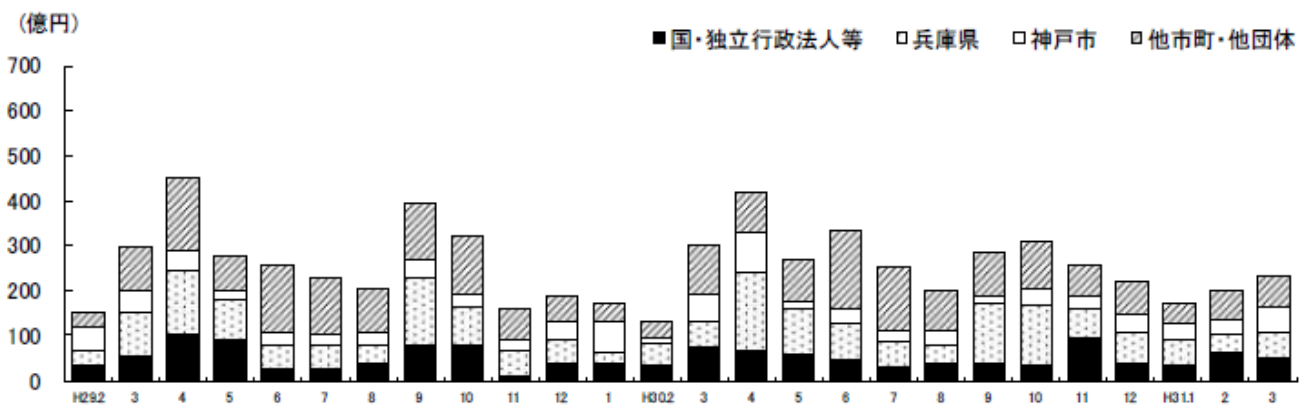
①建設業

【公共工事】

公共工事請負金額増減率



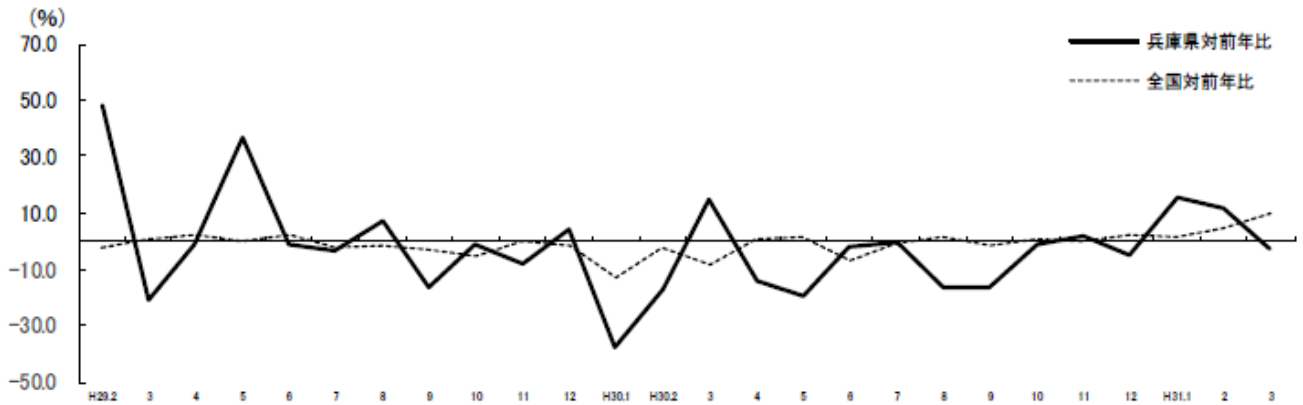
兵庫県・公共工事請負金額



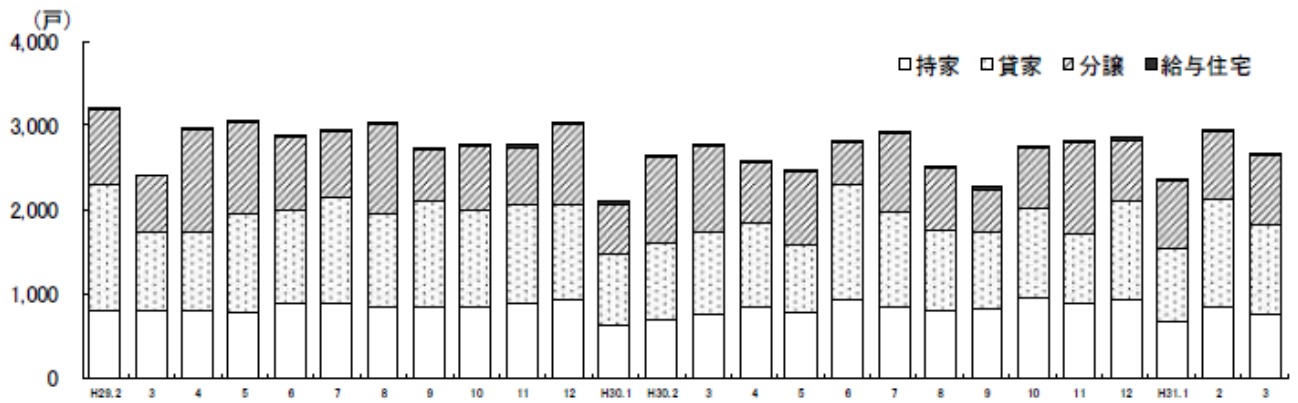
公共工事請負金額は、直近は横ばいから若干の増加で推移しています。なお、平成 31 年 3 月期には、5 か月ぶりに前年同月を下回りました。

【住宅着工】

新設住宅着工戸数増減率



兵庫県・新設住宅着工戸数



新設住宅着工戸数の近年の推移を見ると、減少傾向がうかがえます。平成31年の1月、2月は前年同月比増であったものの、3月には前年同月を下回りました。

(以上、兵庫県「兵庫県の経済・雇用情勢」R1.5.15)

②製造業

【食料品製造業①】

兵庫県内食品メーカーによると、衛生管理の厳格化や働き方改革の影響により、中堅・中小メーカーが廃業し、大手と家族経営規模の地場メーカーが残る流れとなっている。同社としては、堅調な売上を維持しつつ生産コストを下げるため、工場の拡張や生産の効率化を図る考えである。また、人手不足に陥らないよう、やる気のある従業員が長く働き続けられる環境整備と事業継続のため、若年従業員への技能の承継に取り組むとのことである。

【食料品製造業②】

兵庫県内食品製造組合によると、景況感が良い。今期は製造量を増やし、売上高は対前年比 4～5%増加する見込みである。一方で、原料の小麦価格が高騰しており、利益は伸び悩むとみている。昨夏の猛暑では、出荷依頼が非常に多かったにもかかわらず、商品を包装するラインのパートスタッフ不足で、十分な対応ができなかった。今年はラインの設備を一新し、機械化により出荷増を図りたいとのことである。

【電気機械器具製造業】

兵庫県内電気機械器具メーカーによると、景況感はさほど良くない。当社の受注量は工場プラント関係の動向に大きく依存しているが、景気の先行きが不透明になってきており、今後の企業の設備投資動向を懸念している。雇用に関しては、電気関係の設計技術者が不足している。キャリア採用も募集しているが確保が困難で、受注を調整せざるを得ない場合もあるとのことである。

【金属製品製造業】

兵庫県内金属製品製造業者によると、景況感はさほど良くない。毎年セールを行っている10、11月は最も売上が伸びる時期だが、今年は消費増税が控えていることから、8、9月の駆け込み需要は見込まれるものの、その後の反動減を懸念している。設備投資については、増加している製品ラインナップに対応すべく、主力製品の製造ラインの増設を行うこととしており、前年度比 30%増を予定しているとのことである。

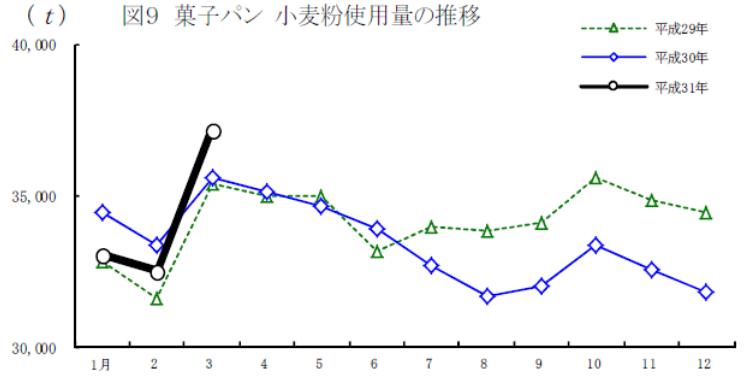
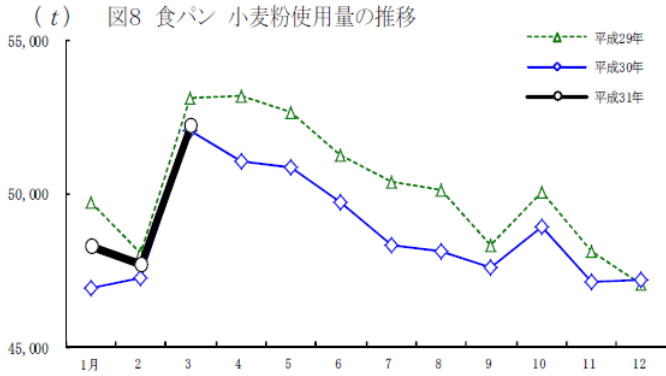
【その他製造業】

兵庫県内インテリア商品メーカーによると、景況感はさほど良くない。前年は女性に人気のハーバリウム関連の受注が急増し、生産が追い付かないほどだったが、そのブームも一段落し、売上は例年ベースに戻ると見ている。一方、最近は日本製ブランドと品質の高さが評価され、インターネットを通じて海外からの注文が増えている。引き続き、海外に向けた営業を強化するため、新商品の開発を進めていくとのことである。

(以上、兵庫県「兵庫県の経済・雇用情勢」R1.5.15)

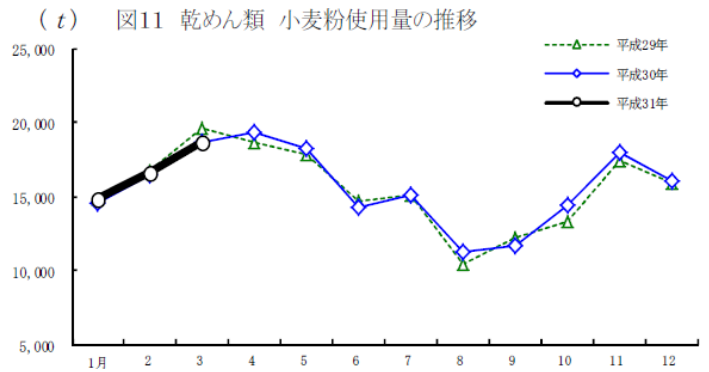
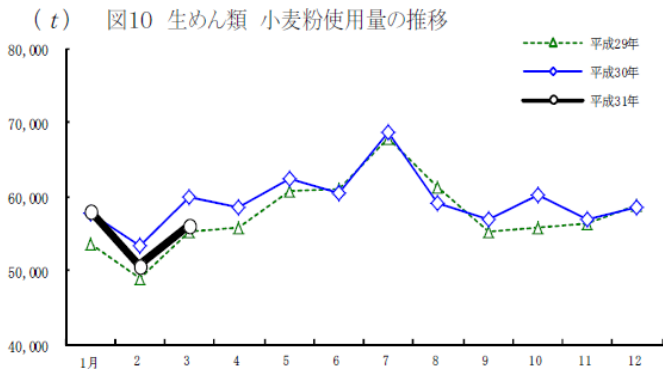
【食パン、菓子パン 小麦粉使用量の推移】

食パンの3月の小麦粉使用量は、対前年同月比0.4%と前年並みとなった。
菓子パンの3月の小麦粉使用量は、対前年同月比4.4%とやや増加した。



【生めん類、乾めん類 小麦粉使用量の推移】

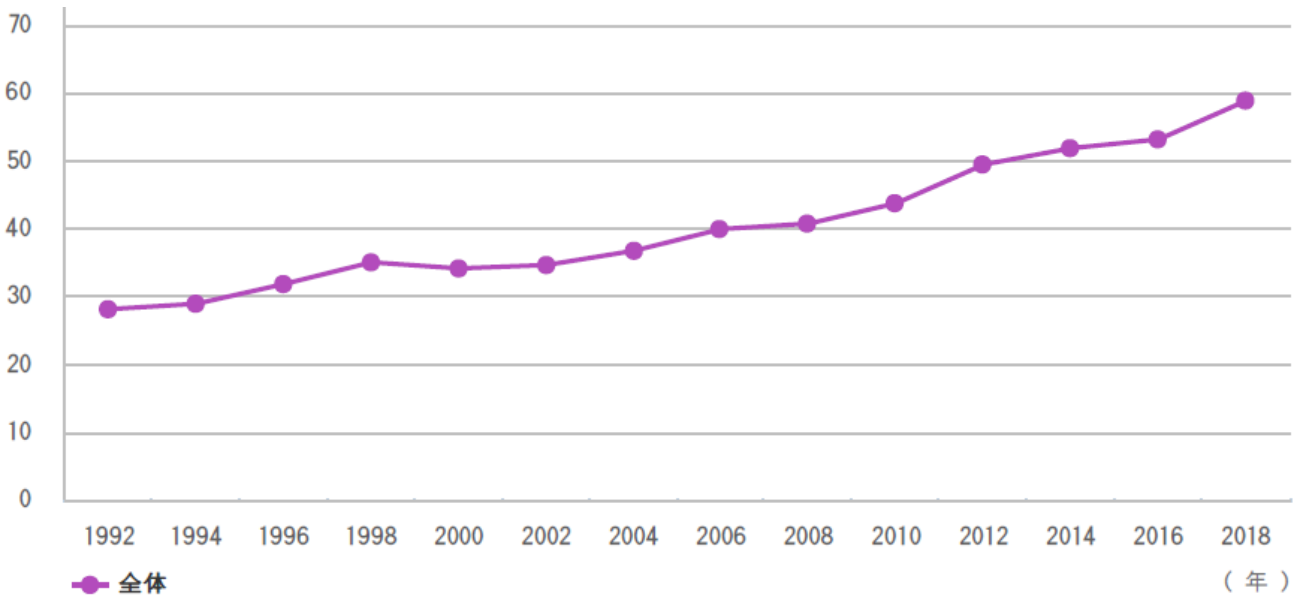
生めん類の3月の小麦粉使用量は、対前年同月比▲6.1%とかなりの程度減少した。これは、うどん(生めん)及び中華めん(ゆでめん、餃子等皮類)は増加したものの、うどん(ゆでめん)、中華めん(生めん、蒸しめん)及び日本そば(ゆでめん)が減少したことによる。
乾めん類の3月の小麦粉使用量は、対前年同月比0.2%と前年並みとなった。これは、うどん、ひらめん、ひやむぎ及び手延素麺類(うどん)は減少したものの、そうめん、手延素麺類(ひやむぎ)、干し中華及び日本そばが増加したことによる。



(以上、一般社団法人食品需給研究センター「食品製造業の生産動向」R1.5.10)

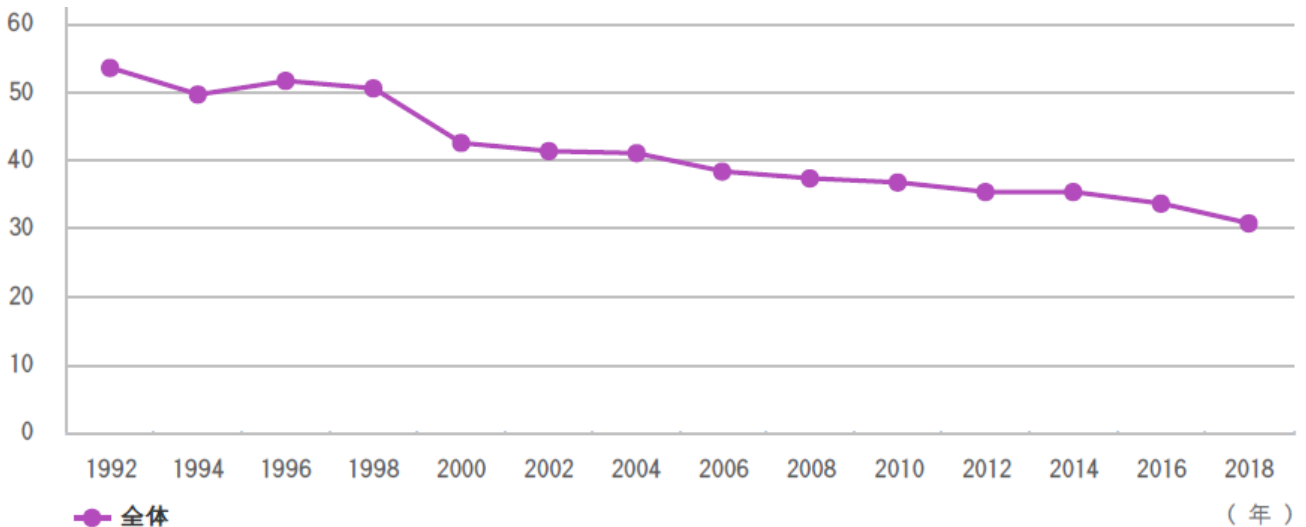
③小売業

【クレジットカードを使うことに抵抗はない】



「お金について、あなたにあてはまるものを教えてください。」という質問に「クレジットカードを使うことに抵抗はない」と答えた人の割合は前回より約6ポイント上昇し、2018年は58.7%となりました。年代別に見ると、60代が53.6%で全体より約5ポイント低く、逆に50代は、全体より約4ポイント高い62.7%となりました。

【普及品より、多少値段がはってもちょっといいものが欲しい】

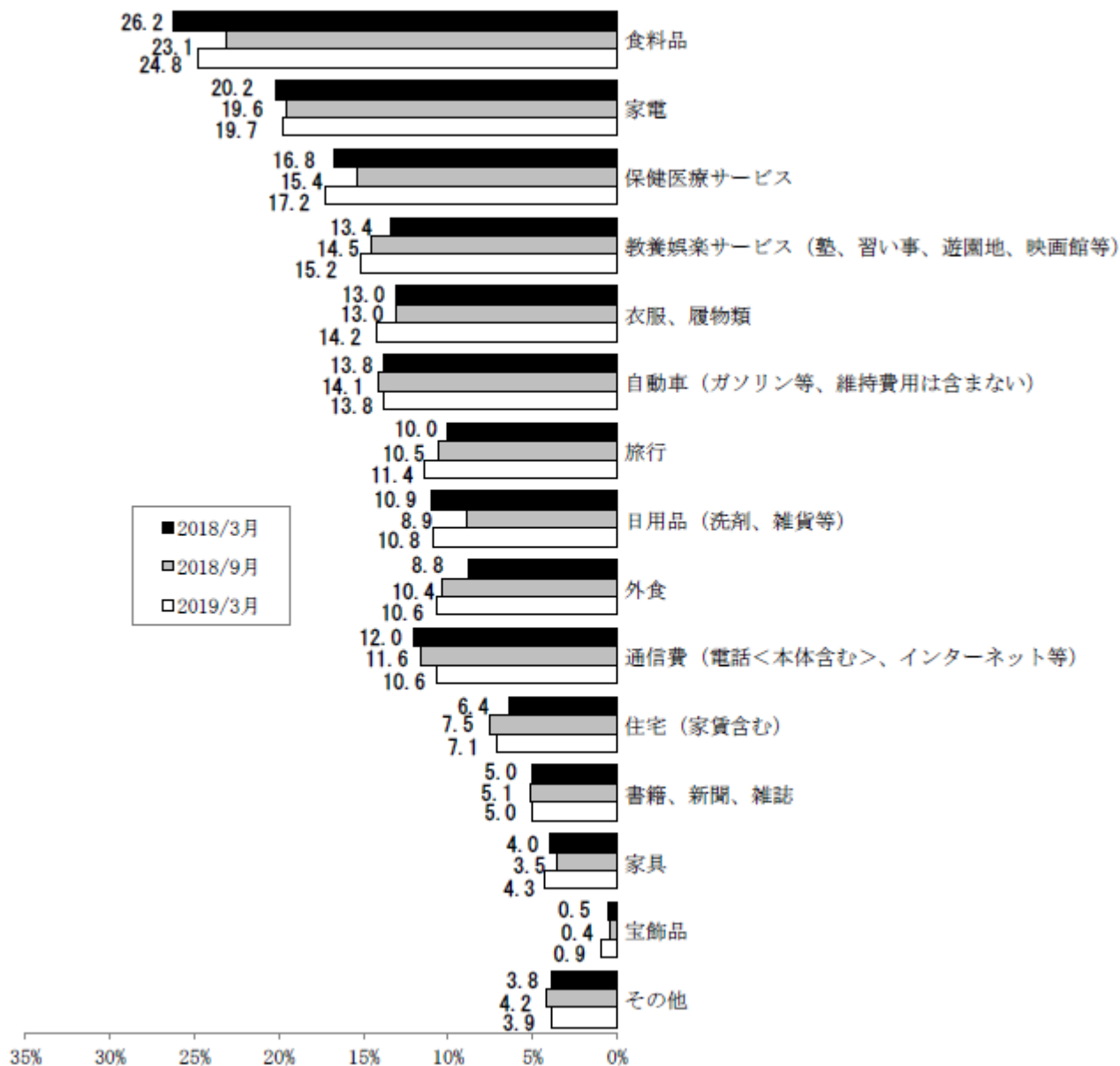


「消費について、あなたにあてはまるものを教えてください。」という質問に「普及品より、多少値段がはってもちょっといいものが欲しい」と答えた人の割合は前回からほぼ変化がなく、2018年は30.6%となりました。男女差については、男性の方が約7ポイント高い結果となりました。地域差はほとんどなく、2018年もほぼ同率となりました。

(以上、株式会社博報堂「生活定点1992-2018」)

【消費者の動き】

「1年前と比べて支出金額を増やしたもの」という設問に対して、「食料品」、「家電」、「保健医療サービス」が上位にあがりました。また、2018年9月期（灰色のバー）には、「衣類」や「日用品」は低調な傾向にあったものの、今回の調査では数値が改善しました。さらに、上位項目と比べて回答率が高くは無いものの、「教養娯楽サービス」、「旅行」、「外食」は回答率が上昇傾向にあり、サービス業の景況感の回復と比例する結果として読み取ることができます。

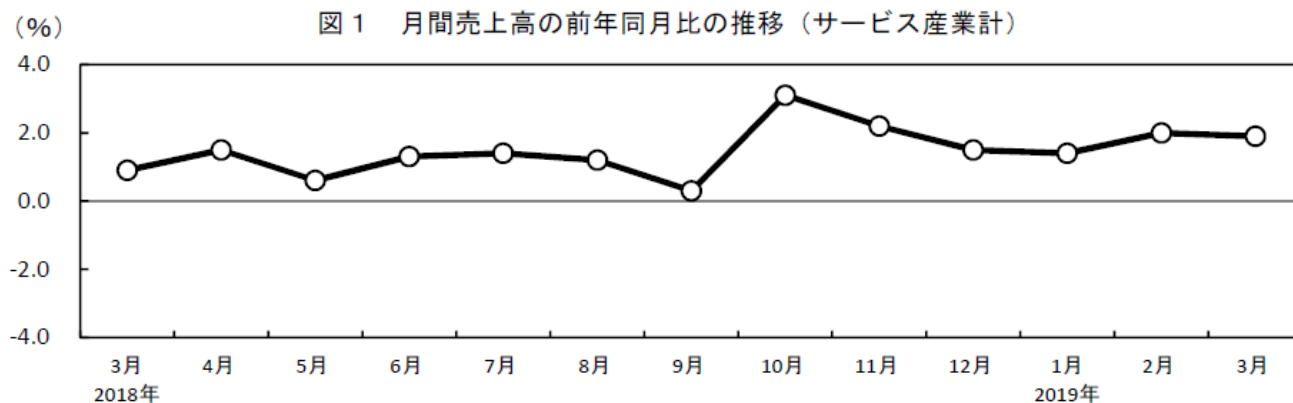


（日本銀行「生活意識に関するアンケート調査」R1.4.5）

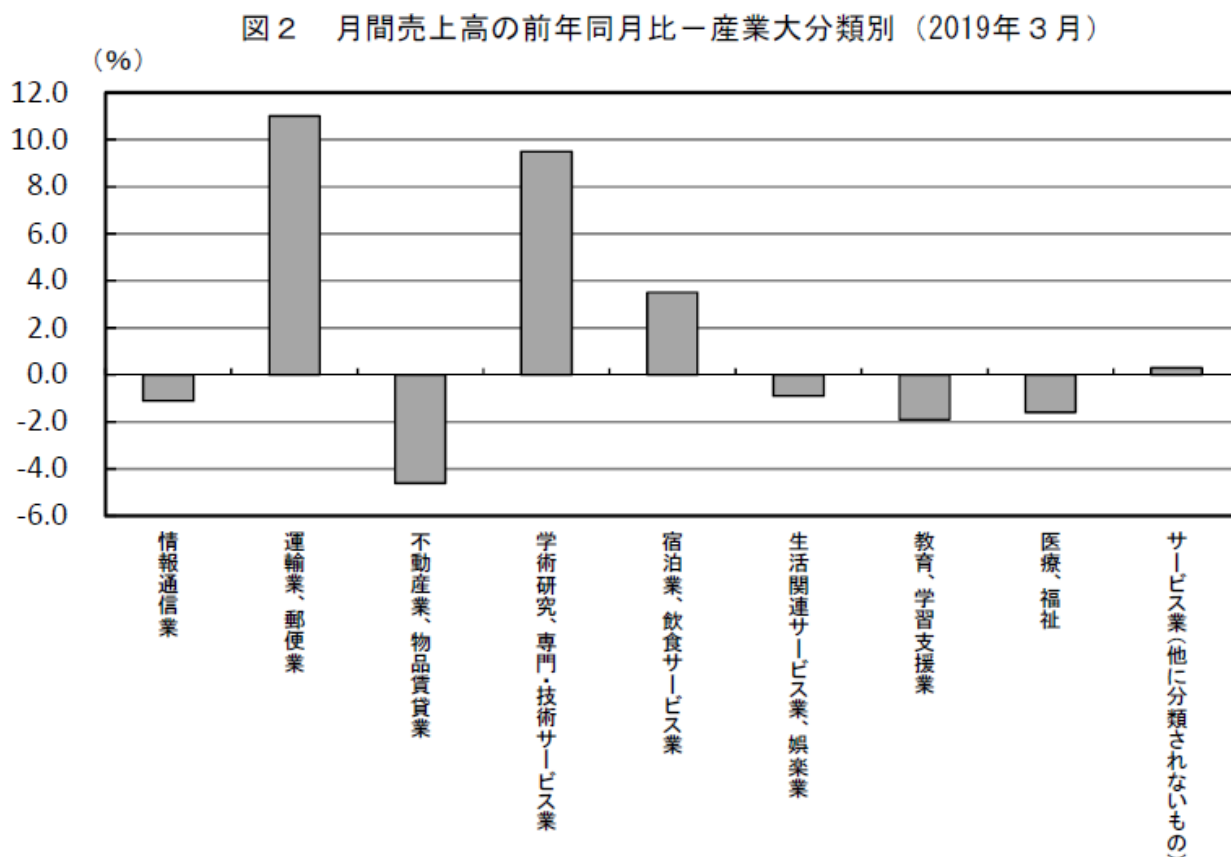
④サービス業

【サービス産業の売上高】

2019年3月のサービス産業全体の売上は38.0兆円、前年同月比1.9%の増加となりました。以下のグラフで見ると、伸び率としては横ばいから若干の増加傾向と読み取れます。



以下は産業大分類別の売上状況の推移を表しています。サービス産業全体として成長を続けてはいますが、主として「運輸業、郵便業」「学术研究、専門・技術サービス業」「宿泊業、飲食サービス業」がサービス産業の成長をけん引する状況にあります。

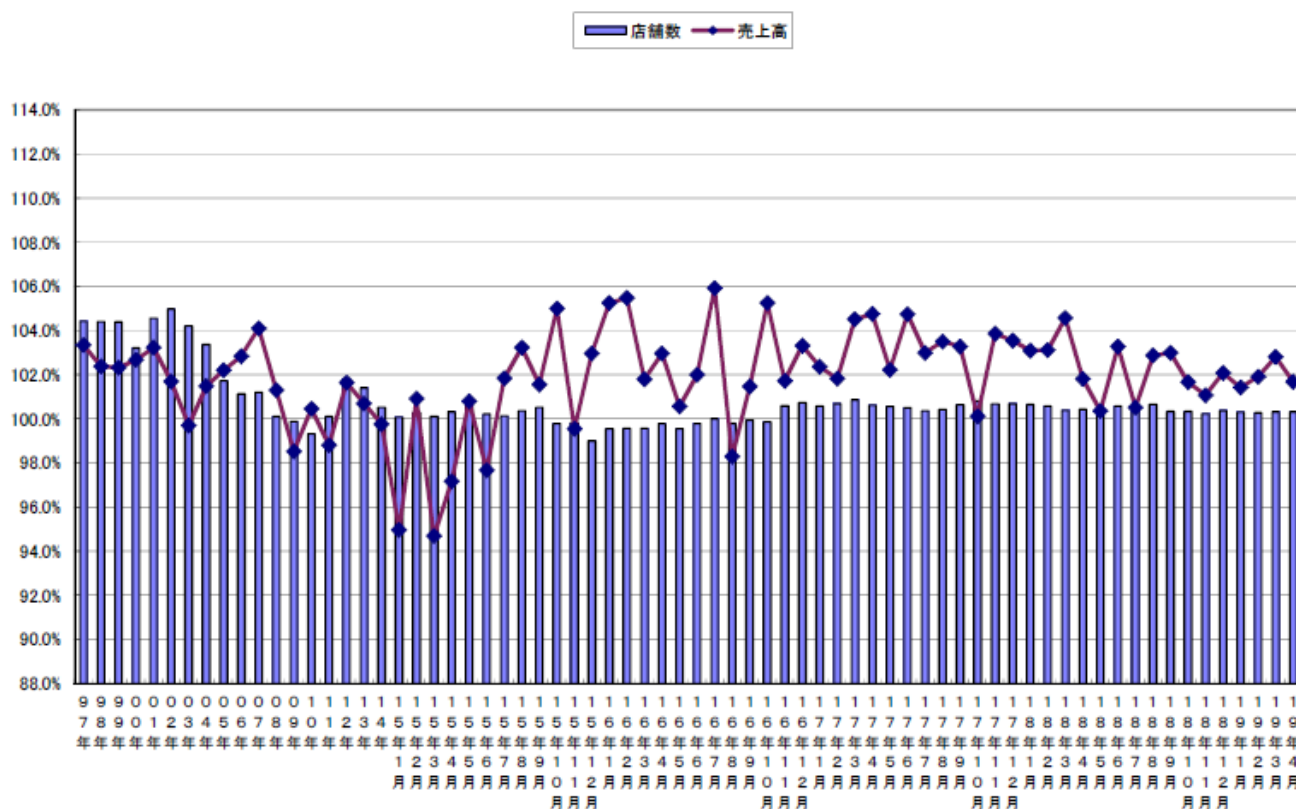


(以上、総務省「サービス産業動向調査」R1.5.31)

■外食市場 令和元年4月の動向【客数減も客単価堅調で、売上は前年を上回る】

4月は、東日本で気温が低かったことも客足にマイナスの影響を与えた。客数は全体的に前年を下回ったものの、季節メニューの投入やメニュー価格の改定等により客単価が上昇、全体の売上は101.7%と32ヵ月連続して前年を上回った。今年のGWは10連休と休日数が増加したが、その前半にあたる4月末の4日間は天候に恵まれない日もあり、客足が鈍る店もみられた。

売上高と店舗数の伸び率推移



○ファミリーレストラン業態

全体売上は100.7%と前年を上回った。「洋風」と「和風」は、グランドメニューの改訂等で客単価は上昇するも、客数と店舗数が減少し、売上は「洋風」99.1%、「和風」99.6%。「中華」は、割引券の利用や期間限定メニュー等の好調で客数と客単価が上昇し、売上は104.9%。「焼き肉」は、客数、客単価が堅調で、売上は103.4%となった。

○喫茶業態

GW期間中はビジネス街で営業時間を短縮する店もあり、客数はわずかに前年を下回ったが、季節のドリンクメニューの投入や価格改定で客単価が上昇、売上は101.9%となった。

(以上、一般社団法人日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査」R1.5.27)

(参考文献)

兵庫県内中小企業の景況調査／株式会社みなと銀行
但馬管内の景気動向調査／但馬信用金庫
中小企業景況調査報告書／中小企業基盤整備機構
兵庫県の経済・雇用情勢／兵庫県
食品製造業の生産動向／一般社団法人食品需要研究センター
生活定点 1992-2018／株式会社博報堂
生活意識に関するアンケート調査／日本銀行
サービス産業動向調査／総務省
外食産業市場動向調査／一般社団法人日本フードサービス協会

「朝来市景況調査書」についてのお問い合わせ先

朝来市商工会

〒669-5201 朝来市和田山町和田山 404

電話：079-672-2362 FAX：079-672-4844

URL：http://www.asago.org/ メール：shokokai@asago.org